

生活科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・植物や生き物の観察など、多くの児童が、感じたことや考えたことを絵や文章で表現しようとすることができた。
- ・植物の水やりを熱心にしたたり、成長に伴う様子の変化を楽しんだりしながら、親しみをもって世話をすることができた。
- ・学校探検の活動を通して、1，2年生がそれぞれに目的をもって関わるすることができた。2年生は、町探検の活動を通して、地域の人との関わりをもつことができた。

(2) 課題

- ・植物や生き物について観察したことを記録する際に、感じたことや考えたことを具体的かつ的確に表現すること。（事実の羅列になってしまう児童が多い。）
- ・活動計画や製作の見通しなど、目的に合わせて自ら考えたり工夫したりすること。
- ・入学前の生活環境や習慣の違いにより、言葉遣いやルール・マナーなどの生活上必要な習慣や技能が十分ではないこと。

2 課題と授業の改善策

		1 年	2 年
課 題	知識・ 技能	・植物や生き物を詳しく観察して、変化や成長の様子に気付くこと。 ・自分自身や身近な人々と関わる学習活動において、生活上必要な習慣や技能を身に付けていること。	・植物や生き物の観察や活動について記録をする際に、事実の羅列ではなく、それらに関連付けて表現すること。
	思考・ 判断・ 表現	・植物や生き物を観察して気付いたことや考えたことを表現すること。 ・身近な人々や自然と自分自身がどのように関わっているかを具体的に考えること。	・季節や生き物の様子の変化に気付いたり、自分なりに物事の事象について考えをもったりすること。
	主体的に 学習に取 組む態度	・校内の人々や栽培している植物と関わる活動で、自らすすんで働きかけたり、自信をもって取り組んだりすること。	・植物の栽培や生き物の飼育等、決められた活動だけでなく、自らすすんで活動を始めた り工夫したりすること。 ・1年生との交流や町探検で地域の人との関わる機会を設けること。
授 業 の 改 善 策	知識・ 技能	・観察の観点や例を示し、活動の時間を十分確保する。注意深く観察したり考えたことを 交流したりする場面を設定する。 ・楽しく安全に生活する意識をもたせ、学習活動に合わせて必要な習慣や技能を身に付け させていく。	・観察や体験したことをまとめる際には、観点や要点を明確に提示し、児童が意識をもっ て考えたり記録したりできるようにする。 ・画像資料の提示や記録カードの比較により、様子の変化についても目を向けさせる。
	思考・ 判断・ 表現	・気付きや考えを表現させる際、これまでの経験とつなげて考えたり、感覚を働かせたり できるような言葉かけをする。 ・身近な人々や自然と関わる活動の中で、自分自身について気付いたり比べたりしながら 考え、表現するようにしていく。	・観点やキーワードなどを具体的に示すことで、事象の変化に気付いたり、自分なりの考 えをもたせたり、それを表現する方法を身に付けさせたりする。 ・タブレットを活用して植物の生長過程を記録し、変化に気付くようにさせる。
	主体的に 学習に取 組む態度	・校内の人々や栽培している植物と関わる活動を、楽しんだり工夫したりする。また、そ の活動のよさを自分たちの生活に取り入れたり、役立てたりするようにしていく。	・児童が自ら興味関心をもって学習に取り組めるように、日常的に体験的な活動を意図的 に取り入れていく。また、学習の際に具体的な活動の例示をしたり、すすんで組み めた児童を取り上げることで、意識を高めたり意欲をもたせたりしていく。 ・学校探検で1年生との交流や町探検の計画を立て実施させるような活動を取り入れ、主 体的に関わる場面を設定する。

